

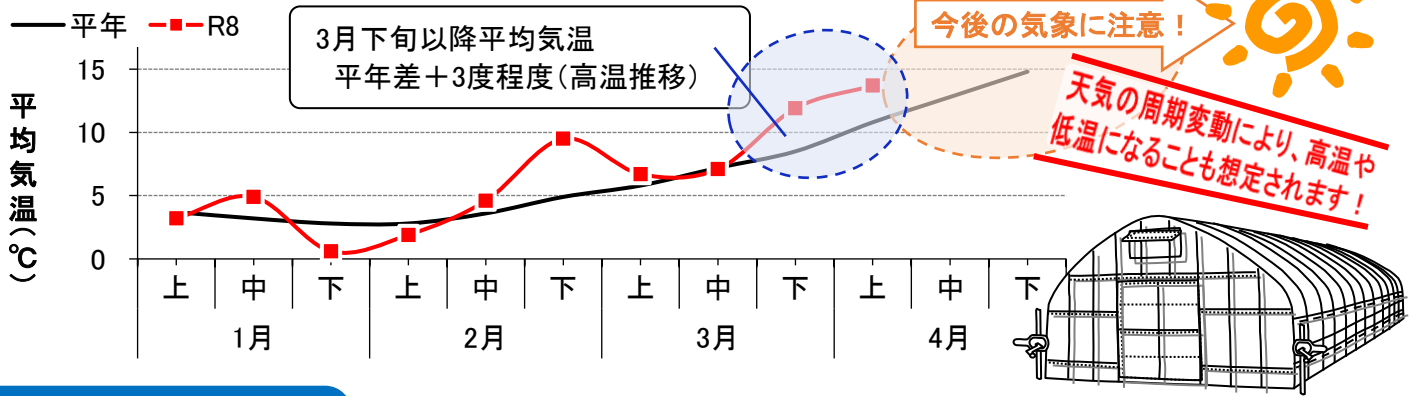
Agri Note 田園

アグリノート米作り情報

(ハナエチゼン・コシヒカリ育苗) JA福井県

1. 気象の状況(平均気温の推移)

今年の桜の開花は平年より3日早まりました。これは3月下旬からの高温が要因と考えられます。今後も平年より気温の高い日が多いと予想されていますが、春先は周期的に天候が変化しやすく、寒暖差への対応が重要です。気象予報をこまめに確認し、ハウスの温度管理を徹底しましょう!!



2. 育苗ハウスの管理

◆ハナエチゼンの育苗は低温、コシヒカリの育苗は高温に注意。

昔から、『苗半作』と呼ばれ、苗作りは稲作りにおいて最も重視されてきた技術です。良い苗を植えると、その後の活着、初期生育の確保につながり、圃場全体の生育も揃うため、本田全般の管理が容易になります。

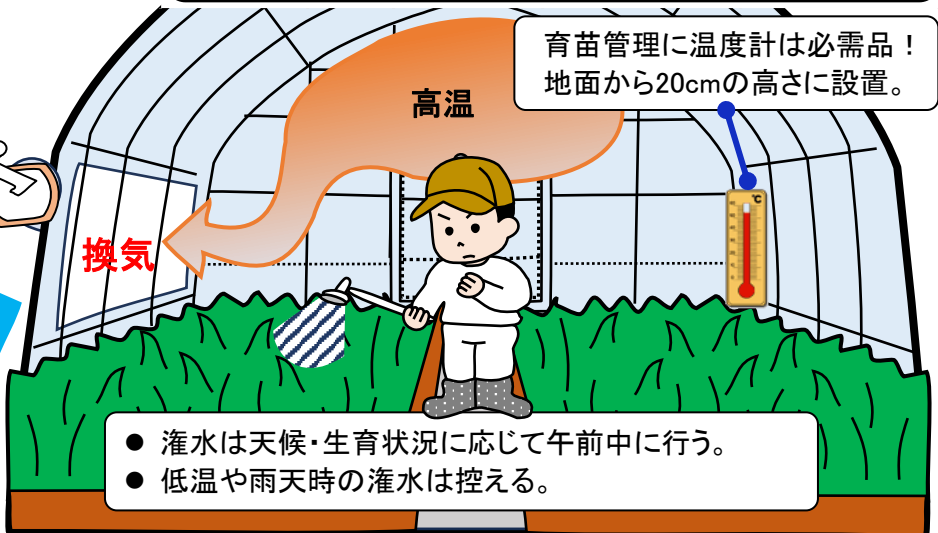
【ハウス温度管理】

育苗期		日数	昼	夜
緑化期		1~2日	20~25℃	10~15℃
			10℃以下や32℃以上にしない	
硬化期	前半	3~7日	25℃以下	10℃以上
	後半	8~18日	低温時以外は外気にならず	

【健苗の目標】

- ◇草丈 … 12cm
- ◇葉令 … 2.4葉
- ◇茎は太く充実
- ◇根が十分に伸長し
マットを形成

育苗管理に温度計は必需品！
地面から20cmの高さに設置。



育苗中に多く見られる症状と原因

- ① 芽が出てこない ⇒ 催芽温度が高すぎるか低すぎる
- ② 出芽が不揃い ⇒ 浸種が不十分、出芽温度が高すぎる
- ③ 苗が焼けた ⇒ ハウス内温度が高すぎる(急激な直射日光)
- ④ 苗丈が不揃い ⇒ 灌水ムラ、置き床が凸凹
- ⑤ 根張りが悪い ⇒ 水が多すぎる、夜間の低温

馴化期(田植え3日前頃)

- 側面を全開にし、外気にならず(低温時以外)